

(10) 昭和47年度

今年度から、自動測定(電気伝導度法による測定)による測定地点も増え、二酸化鉛法による硫酸化物量の調査を過去数年間行なってきたが、汚染の傾向や汚染分布など汚染の状況を把握することがつかめることができ、また自動測定機の値と比較し関係を見ることができたので、今年度から主な測定点にだけしほり調査を続けた。

調査期間 昭和47年4月1日～昭和48年3月31日

調査地点

春日部市 : 春日部 消防署

川口市 : 川口市役所

草加市 : 草加市役所

和光市 : 和光市役所

川越市 : 川越地方庁舎

調査方法

前年度と同じ方法にて行った。

結果と考察

月別変化を見ると、全般に9月が低い値が見られる。また、前年度と同様に6月～7月と1月～2月に2つの高いピークが現われている。

地域別に見ると、やはり県南地域、すなわち川口市、草加市などが高く、特に草加市は値が1.0以上の月が3回ある。

過去3カ年間の平均では、45年度と46年度を比較すると、46年度では減少の傾向にあるが、47年度では測定地点数は少ないが、また増加が見られる。

にによるいお
把握する
今年度か

1月～

が 1.0

あるが、

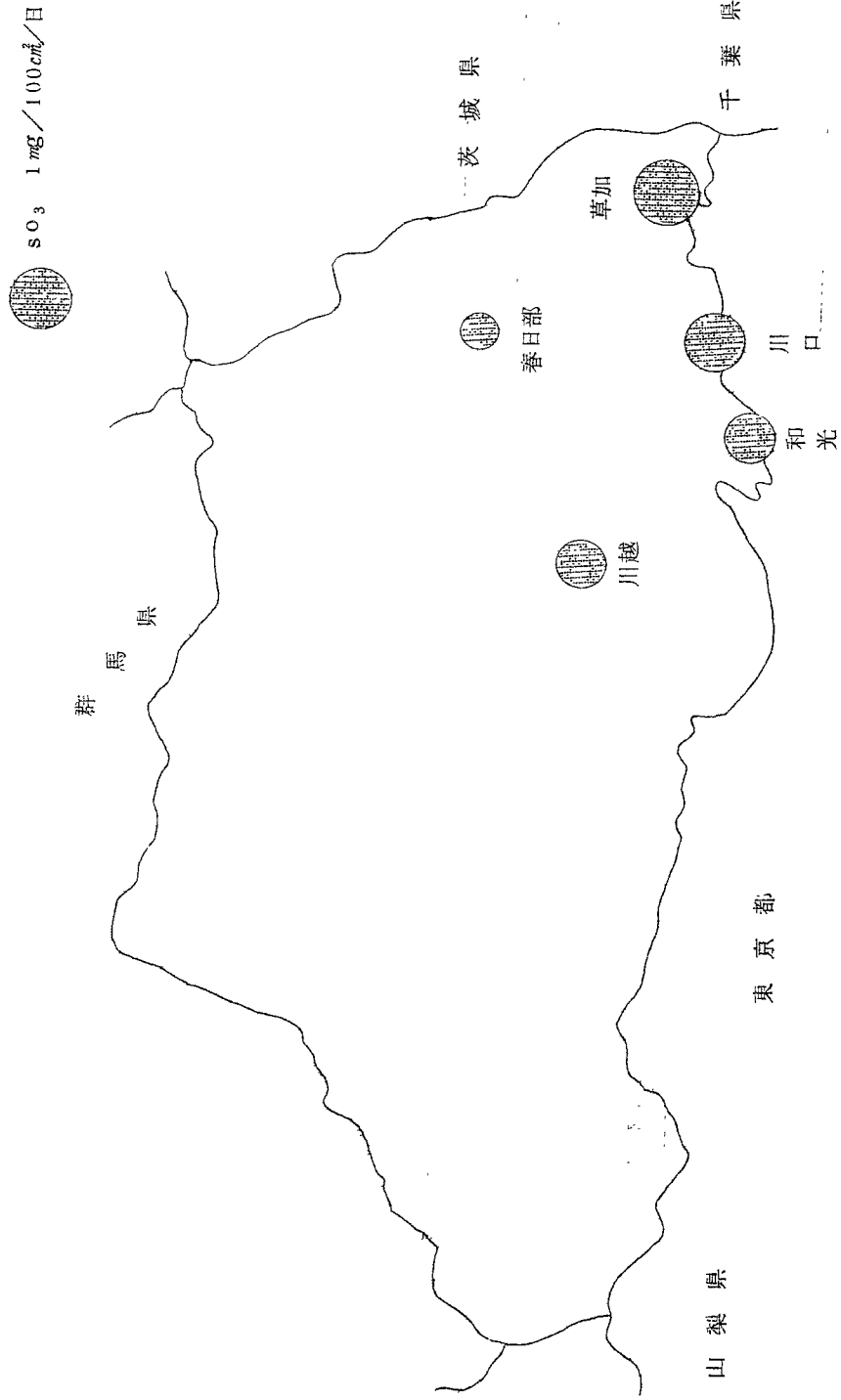
硫 黄 酸 化 物 量 (P b o₂ 法)

昭和47年度

SO₂ mg / 100 cm³ / 日

地点	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
川口(保健所)		0.94	0.90	0.82	0.86	0.63	0.53	0.61	0.57	0.55	0.95	0.92	0.33	0.72
草加(市役所)		1.02	0.86	0.90	0.92	0.84	0.44	0.70	0.63	0.79	1.13	1.02	0.44	0.81
和光(市役所)		0.69	0.80	0.73	-	0.45	0.58	0.60	0.46	0.68	0.86	0.80	0.32	0.63
川越(地方庁舎)		0.42	0.58	0.46	0.43	0.39	N.D	-	0.39	0.95	0.73	0.83	0.41	0.51
春日部(消防署)		0.20	0.39	0.37	0.43	0.43	0.30	0.34	0.41	0.46	0.67	0.65	0.18	0.40

硫酸化物分布 (昭和47年度平均)



最近3カ年間のいおう酸化物量

番号	項目		P b o ₂ 法いおう酸化物 (SO ₃ mg/100cm ³ /日)		
	市町名	測定局名	昭和47年度	昭和46年度	昭和45年度
1	浦和市	県庁	—	0.48	0.60
2	大宮市	公害センター	—	0.58	0.60
3	川口市	川口市役所	—	0.57	0.75
4	川口市	川口保健所	0.72	0.56	0.82
5	所沢市	所沢保健所	—	0.36	0.40
6	東松山市	東松山保健所	—	0.24	0.23
7	熊谷市	熊谷地方気象台	—	0.33	0.36
8	鳩ヶ谷市	鳩ヶ谷市役所	—	0.61	0.69
9	越谷市	福祉会館	—	0.55	0.73
10	草加市	草加市役所	0.81	0.78	0.91
11	上尾市	上尾市役所	—	0.78	0.74
12	和光市	和光市役所	0.63	0.55	0.83
13	川越市	川越地方庁舎	0.51	0.42	0.44
14	蕨市	蕨市役所	—	0.52	0.67
15	春日部市	春日部消防署	0.40	—	—